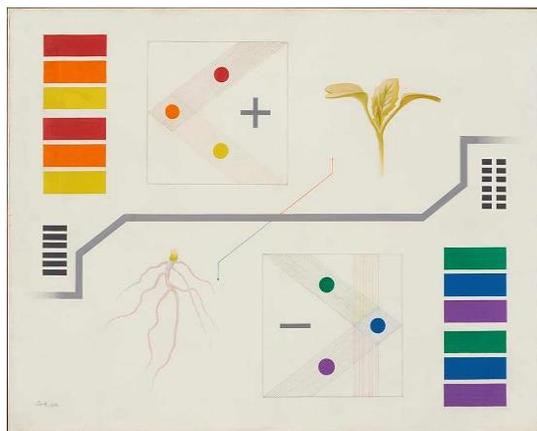


## 所蔵作品展「MOMATコレクション」

2020年2月11日[火・祝]–6月14日[日]



マルセル・ブロイヤー  
《クラブ・チェア B3(ワシリー)》1927年  
撮影者:アローアートワークス



北脇昇《周易解理図(乾坤)》1941年

## ■ 今期のみどころ

## ① 明治から昭和まで、1時間でたどる時間旅行

20世紀はじめから今日に至る日本の近現代美術の流れを、国際的な関連も含めてご紹介するMOMATコレクション。第1室は「ハイライト」コーナーで、当館選りすぐりの名品がまとまっています。第2室から第12室にかけては、明治から現代まで、時代を追って日本の美術の流れをたどることができます。

## ② 毎年恒例、「美術館の春まつり」

今年の春まつりは3月17日から4月5日。花を描いた日本画が第10室に勢ぞろいします。今年は重要文化財の川合玉堂《行く春》(1916年、六曲一双屏風)と、菊池芳文《小雨ふる吉野》(1914年、六曲一双屏風)のふたつの大作が2年ぶりに同じ部屋に並ぶほか、登録美術品として受入後初公開となる安田鞞彦《木花之佐久夜毘売(このはなのさくやひめ)》(1953年、登録美術品)も登場します。木花之佐久夜毘売は桜と富士山の女神です。

## ③ 「バウハウス100ジャパンプロジェクト」に連動したコーナーが登場

モダン・デザインの展開に革新をもたらしたドイツの造形教育学校バウハウスは、2019年がちょうど開校100周年でした。これを記念した「バウハウス100ジャパンプロジェクト」に連動し、3階第9室と第10室の手前のスペースで特集を行います。パウル・クレーやワシリー・カンディンスキーの絵画、カンディンスキーのファーストネームを冠したマルセル・ブロイヤーの《クラブ・チェア B3(ワシリー)》、モホイ=ナジのフォトグラムなどが並びます。

## ④ コレクションによる小企画「北脇昇 一粒の種に宇宙を視る」

北脇昇(1901-1951)は、1930年代から40年代にかけての激動の時代に、身近な植物などを発想の出発点としながら、きわめてユニークな作品を生み出しました。シュルレアリスムや抽象や数学や生物学や色彩学や古代中国の易などが複雑に組み合わせられた不思議な絵画で彼が表そうとしたものとは? 2階ギャラリー4で約40点の作品をご紹介します。

プレス用イメージ・取材、展覧会内容など報道関係のお問合せ先: 東京国立近代美術館 美術課広報担当(岩田)

TEL: 03-3214-2565 / FAX: 03-3214-2576 e-mail: [pr-f@momat.go.jp](mailto:pr-f@momat.go.jp)

〒102-8322 東京都千代田区北の丸公園3-1

## ■ 「北脇昇 一粒の種に宇宙を視る」関連イベント

講演会「北脇昇の絵を読み解く」

5月16日(土)15:00-16:30 大谷省吾(美術課長)

## ■ 「バウハウス特集」関連イベント

ギャラリートーク

5月15日(金)18:00-19:00

講師: 杉田佳穂氏

(ミサワホーム総合研究所 ミサワバウハウスコレクション学芸員)

\* 詳細は当館HP( <https://www.momat.go.jp/am/exhibition/> )

にて順次掲載予定です。

## ■ キュレータートーク

2月15日(土)14:00-15:00 古舘遼(研究員)

3月13日(金)18:00-19:00 榊田倫広(主任研究員)

4月12日(日)11:00-12:00 都築千重子(主任研究員)

5月8日(金)18:00-19:00 大谷省吾(美術課長)

\* テーマ等詳細は当館HP( <https://www.momat.go.jp/am/exhibition/> )

にて順次掲載予定です。

## ■ 作品解説をお手持ちのスマホで

所蔵作品展「MOMATコレクション」の作品解説(和英中韓の4ヶ国語)を、お客様ご自身のスマートフォンでダウンロードしてお楽しみいただけるサービスを行っています。「Catalog Pocket」というアプリをインストールすると、展示中の作品のうち、約100点の作品解説を4ヶ国語でご覧いただけます。解説を自動読み上げ音声で聞くこともできます。完全無料です。なお、この事業はDNP大日本印刷のご協力によるものです。

## ■ 所蔵品ガイド

毎日1時間ほど、対話を交えたギャラリートークを行っています。

最大の特徴は、作品解説を聞く一方向的なものではなく、参加者主体の鑑賞プログラムであること。参加者が当館解説ボランティア「MOMATガイドスタッフ」と対話を重ねながら、数点の作品を鑑賞します。

ガイドスタッフを案内役に、参加者は作品を自由に感じ、想像をめぐらせ、それを言葉にして語り合います。作品と向き合い、他の人との対話によって深く作品を掘り下げていく感覚は、まるで謎解きのようにも、新たな作品の魅力を発見する機会となります。

日時: 休館日を除く毎日、14:00-15:00

場所: 所蔵品ギャラリー(1Fエントランス集合)。要観覧券。参加は無料。

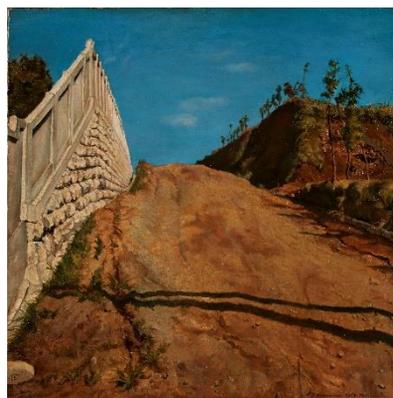
## ■ 画像の貸出について

所蔵作品展「MOMATコレクション」に出品中の作品は、どれでも**無料(広報扱い)**で画像を貸し出しています。貸し出しの**条件**は次のとおりです。

1. 展覧会(所蔵作品展「MOMATコレクション」)の会期中に発行される記事であること。
2. 掲載時には展覧会名(所蔵作品展「MOMATコレクション」)と会期、掲載作品が展示中である旨を記してください。
3. 原則として、トリミングや文字載せはお断りします。
4. 著作権の保護期間内にある作品については、著作権者の許可をとってください。ただし、このプレスリリースに掲載されている画像については、著作権の保護期間にある作品もご利用になれます。
5. 画像の二次使用は原則できません。
6. 作品によっては、カラー画像が未撮影の場合もあります。事前にお問い合わせください。
7. 会期外の使用は、DNPアートコミュニケーションズ( <https://images.dnpartcom.jp/> )へご申請ください。有料です。



川合玉堂《行く春》左隻 1916年  
重要文化財  
(展示期間:2月11日-4月12日)



岸田劉生《道路と土手と塀(切通之写生)》1915年  
重要文化財



所蔵品ガイドの様子

## 展覧会概要

タイトル	所蔵作品展「MOMATコレクション」
会期	2020年2月11日[火・祝]–6月14日[日]
開館時間	10:00-17:00 金曜・土曜は20:00まで(入館は閉館30分前まで)
休館日	月曜日(ただし2月24日、3月30日、5月4日は開館)、2月25日[火]、5月7日[木]
主催	東京国立近代美術館
会場	東京国立近代美術館 本館 4-2階 〒102-8322 東京都千代田区北の丸公園3-1
アクセス	東京メトロ東西線竹橋駅1b出口 徒歩3分
観覧料	<p>一般500(400)円 大学生250(200)円</p> <p>* 高校生以下および18歳未満、65歳以上、「MOMATパスポート」をお持ちの方、友の会、賛助会員、MOMAT支援サークルパートナー企業(同伴者1名まで、シルバー会員は本人のみ)、キャンパスメンバーズ、障害者手帳をお持ちの方とその付添者(1名)は無料</p> <p>* ( )内は20名以上の団体料金。いずれも消費税込。</p> <p>* 17時以降の入館は「MOMATコレクション」観覧料が一般300円、大学生150円になります。</p> <p>* 本展の観覧料で、<b>入館当日に限り</b>、工芸館の所蔵作品展「パッション20 今みておきたい工芸の想い」(–2020/3/8)もご覧いただけます。</p>
無料観覧日	<p>毎月第一日曜日(3月1日、4月5日、5月3日、6月7日)</p> <p>* 所蔵作品展「MOMATコレクション」のみ(企画展「ピーター・ドイグ展」は別途観覧料が必要です。)</p>
お問合せ	03-5777-8600(ハローダイヤル) <a href="https://www.momat.go.jp">https://www.momat.go.jp</a> (ホームページ)
同時開催	<p>企画展ギャラリー(1F)</p> <p>◆「ピーター・ドイグ展」</p> <p>2020年2月26日[水]–6月14日[日]</p> <p>観覧料:一般1,700(1,500)円 大学生1,100(900)円 高校生600(400)円</p> <p>* 中学生以下、障害者手帳をお持ちの方とその付添者1名は無料。</p> <p>* ( )内は20名以上の団体料金。いずれも消費税込。</p> <p>* 「ピーター・ドイグ展」、工芸館の所蔵作品展「パッション20 今みておきたい工芸の想い」の観覧料で、当日に限り、所蔵作品展「MOMATコレクション」もご覧いただけます。</p>